

Organo de HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

Heroldo de HEL

N-ro 133

Januaro 2011

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- 表紙、Enhavo/目次 P. 1
- Mesaĝo de Japana Esperanto-Instituto al la 74a Hokkajda Kongreso de Esperanto /第74回北海道エスペラント大会への
JEIからのメッセージ/柴山純一 (JEI 理事長) P. 2
- 「-us」の使い方について/HOSIDA Acusii
- Hokkaido, kie loĝas mia konato de 40 jaroj P. 4
/40年来の知己の住む北海道を訪ねて/MA Youngtae
- La 44-a Esperanto-Seminario, Sapporo P. 6
/第44回エスペラントセミナーオ・札幌/JEI
- Danke ricevitaj - 受領郵便物 - (星田淳 扱い) P. 8
- [第2回委員会報告] Protokolo de la 1-a Komitata Kunsido P.10
- [第99回日本大会LKK 議事録] /Protokolo de la Kunsido de
Loka Kongresa Komitato por la 99a Japana Esperanto-Kongreso
- [編集後記/Redaktanto parolas ...] P.12

Mesaĝo de Japana Esperanto-Instituto
al la 74a Hokkajda Kongreso de Esperanto
第74回北海道エスペラント大会へのJEIからのメッセージ

柴山純一 (JEI 理事長)

昨年十月の大会へのメッセージ、その場では代読されましたが、機関誌には入りませんでしたので、遅れましたがここに掲載します。(La Red.)

Karaj amikoj en Hokkajdo,

Japana Esperanto-Instituto gratulas vin pro via kongreso, kiu havas tiom longan historion, kiom nombras 74 (sepdek kvar)!

La japana insularo estas longa, kaj vi movadas en ties plej norda parto, sed mi vidas, ke vi arigas esperantistojn el diversaj partoj de la mondo. Tio ja estas la karakterizado de Esperanto-movado. Mi esperas, ke tiel vi daŭrigu nian aferon.

Post 2 jaroj, la Universala Kongreso okazos en Vjetnamio, lando sudege de Japanio, por la unua fojo, kaj samjare en Japanio, ni havos la Japanan Kongreson en via regiono. Mi tial esperas ke viaj membroj akumulu potencon, jen por viziti la sudan lanon, jen por akcepti gastojn el la tuta Japanio, kaj eĉ el la tuta mondo.

SIBAYAMA Zyun'iti,
la Prezidanto de Japana Esperanto-Instituto

「-us」の使い方について

HOSIDA Acusi

ザメンホフの Fundamento では EKZWE CARO §19 La feino(Daŭrigo)の冒頭に出る "Estus tre bele,"が -us を使う最初の例です。母親に指示された性悪娘が、泉で ひとに水を汲んでやるなんて、(する気はないけれど するとすれば)「結構なお話ですね」と言うところか。この章の解説では us はヨーロッパの言語で conditionel, subjonctif, conditional, Konditionalis, Konjunktiv などで表現されている あの使い方の しるし(動詞語尾)です、と なっている。ヨーロッパでは一般的な使い方なので、これで わかるので しょう。

日本語ではこのような文法はないから、仕方なく英、独、仏語の文法解説にならって仮定法、条件法、接続法 などの名前をを使っているようです。

この「-us」については時々

「-us」には過去・現在・未来がなぜないのか？ との質問が出るようです。EKZERCARO では この話 (La feino) の続きの §23に2例 (povus, volus) がでていますがどれも「ありえない (と思われている) ことだが、あるとすれば」の意味合いの場面で、よくわかります。話の筋で、その状況で理解できるので us だけで過去・現在・未来の明示はないが、その必要のない場合は多いようですね。

もし明示必要、と思ったら 例えば 「もし捕らえていたら (過去)」を表現するのに estus kaptinta または kaptintus を使う手もありますね。時々見る例ですが。

この用法の日本語名の問題ですが、「仮想法」を使う人がいます。PMEG (Plena Manlibro de Esperanta Gramatiko) で言う *Imaga modo* に対応していますね。

あり得ないこと、ありそうにない (と思う) ことを表現するとき使うので「仮想法」が一番適当でしょう。

外国語文法から取った名前 (条件法、接続法など) は、外国語に通じている人は、「あれか」と わかるのでしょうか、こんな名前だけでは わかりにくい。

> 「-us」には過去・現在・未来がなぜないのか？

ザメンホフがこの件について何か書いていないかと 調べてみましたが見当たらない。とすれば「必要ない」と判断したのでしょうか。ザメンホフの書いた文 (原作、翻訳) の中でも -us は使われていますが、動詞の「時」が示されないから -us だけではわからない、というところがあるかどうか。少し探して見ましたが、そんな例は見当たりませんでした。論文でも文学作品でも、話の筋で、いつの何の話、と言うことがわかっており、その中で出る仮想条件や結果ですから、「時」を示す語尾がなくてもほとんど理解できるようです。中には「時」を示すために *tiam*, *hierau*, *baldau* などが入っている例もありますが、こんな使い方できるから、-us の場合 特に「時」を示す形は必要ない、と ザメンホフは判断したのでしょうか。「文法の単純化」は彼が国際語 (エスペラント) を作るに当たったの第1条件でしたから (「第一書」の序文参照)。PMEG の

> *La finajo US estas tempe neŭtrala.*

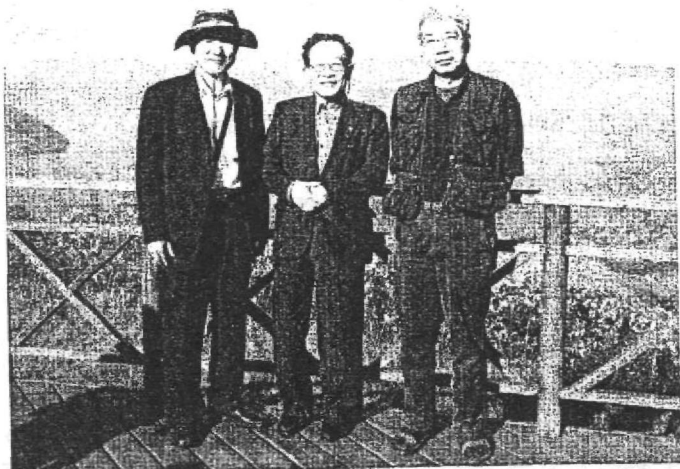
は この結果でしょう。

それでは心もとない場合があれば、たまに見ることがありますが、*estus* ---*inta*(---*anta*, ---*onta*) = ---*intus*(---*antus*, ---*ontus*) などで 「時」を明示することも できます。

Hokkaido, kie loĝas mia konato de 40 jaroj 40年来の知己の住む北海道を訪ねて

MA Youngtae (馬榮泰, legu: ma jongte)

La fotoj en ĉi tiu paĝo kaj la artikolo en la sekva paĝo estas kopiitaj de la novembra numero(2010-11) de "La Lanterno Azia", organo de Korea Esperanto-Asocio. (La red.)



활화산인 유주산 전망대에서
(왼쪽부터 마영태, 호시다, 미야자와)



황응순(Klara)의 한국 춤

(Komento de la red.)

この頁の写真と次頁の記事は韓国エスペラント協会の機関誌から筆者(S-ro MA)の了解を得て転載したものです。MAさんは奥さん(S-ino HWANG)と同伴で昨年の北海道大会に参加し講演、ゲーム学習と舞踊をprezentoして戴きました。

タイトルの「40年来の知己」は la red.

(星田)で、韓国の軍事政権時代の日韓エスペランチスト交流(1973年5月)の際ソウルの国立広報館での星田の講演を通訳したこと、今回の旅行のことなどを3ページにわたる原文記事にハングルとエスペラント要約で報告しています。

【写真上】左からSroj馬、星田、宮沢/洞爺湖有珠山展望台にて

【写真下】S-ino HWANGの韓国舞踊

— Hokkaido, kie loĝas mia konato de 40 jaroj

30an de lasta septembro, mi vojaĝis al Hokkaido, kie loĝas miaj malnovaj amikoj esperantistaj. Kvankam mi jam plurfoje vojaĝis Japanion tamen mi vojaĝis nur de Tokio ĝis Kitakjuŝu. Ĉifoje mi vojaĝis al la norda parto de Tokio. Do, mi kaj mia edzino decidis fari iom novan kaj ekzotikan vojaĝon al la plej norda insulo de Japanio, t.e. Hokkaido.

Tie loĝas mia konato, s-ro Hosida, kiu vizitis Koreion antaŭ 40 jaroj, kaj kies prelegon mi interpretis en korean lingvon. Krom la rerenkontiĝo kun li, mi estis ĝoja, ke mi povis rerenkonti aliajn amikojn, kiuj jam vizits Koreion antaŭe.

Ĉifoja vojaĝo rememorigas al mi la konfucean diraĵon: Ĉu ne estas ĝoje, ke min vizitas amiko, kiu loĝas malproksime?

Mi prezentis la programon "Lando de Esperanto", kiun mi jam prezentis en mia lando kaj en Kumamoto, Japanio. Ŝajnis, ke la kongresanoj estis ravitaj ridante kaj ĝuante la programon, kiu konsistas el agrablaj kantoj, amuzaj ludoj, kaj cerbumigaj kvizoj. Mia edzino prezentis koreajn tradiciajn dancojn, kaj la dancoj plibeligis la atmosferon de la kongreso.

Krom mi kaj mia edzino, gesinjoroj Senekal estis la aliaj fremdlandanoj en la kongresejo. Ili rakontis pri siaj interesaj vojaĝoj tra la mondo, uzante Esperanton. ☸

La 44-a Esperanto-Seminario, Sapporo (3 - 5 majo, 2011)

第44回 エスペラントセミナリーオ・札幌 2011年5月3日(火)～5日(木)

organizas: Japana Esperanto-Instituto (JEI) 主催:財団法人日本エスペラント学会

La 44-a Esperanto-Seminario la unuan fojon okazos en Hokkaido. Malofte estas tia okazo, ke ni havos intensivan Esperanto-seminaron en Sapporo en bela frusomero. Esperantistoj ekster Hokkaido, nepre venu al Sapporo kaptante tiun ĉi okazon. Hokkaidoanoj, kiuj kutime havas frusomeran kunloĝadon tie, vi ankaŭ partoprenu. Kvankam la loko estas kutima por vi, ne perdu la ŝancon kune lerni kaj konatiĝi kun geamikoj el la tuta Japanio.

Ĉi-foje ni havos tri klasojn; elementa (porkomencanta) kurso, meznivela konversacia kurso kaj meza/supera frazfaradokurso. S-ro Hoŝida Acuŝi, longjara sperta esperantisto el Hokkaido, gvidos la elementan klason. Alilanda gvidanto s-ro Atilio Orellana Rojas el Argentino, nun loĝanta en Ŝikoku, estas famekonata spertriĉa instruisto de Esperanto. Li longe loĝis en Nederlando kaj lia konversacia klaso certe estos interesa. Por tiuj, kiuj volas plialtigi esprimkapablon, ege taŭgos la klaso de s-ro Sibayama Zyun'iti.

Esperanto-seminario estas nekutima okazo kiam oni povas pasigi la tempon nur per Esperanto. Ni eĉ povas trovi novajn geamikojn. Ni organizantoj vere atendas vian partoprenon. Ni renkontiĝu en Sapporo!

第44回エスペラントセミナリーオは、初めて北海道で開催されます。初夏の札幌でエスペラント集中合宿ができるなんて、めったにありません。北海道外のみなさん、ぜひこの機会を逃さずに、札幌まで足を伸ばしてください。道内で初夏合宿をしている北海道のみなさまには、お馴染みの場所かもしれませんが、全国の仲間とともに学び交流できる機会はそうあるものではありません。ぜひこいっしょにこのセミナーを楽しみましょう。

今回は、初級、中級会話、中級/上級の文章作成を主にした3クラスを用意しました。初級を担当するのは、北海道のベテランエスペランティスト星田淳さん。外国人講師のアティリオさん(アルゼンチン出身)は、長くオランダに在住し、現在は四国にお住まいですが、経験豊かでよく知られた講師ですから、きっとおもしろい会話クラスになることでしょう。エスペラントの表現力をもっと上げたいと思う方は、柴山純一さんの作文クラスが最適です。



エスペラントセミナリーオは、期間中エスペラントのみで過ごすことのできる非日常の空間です。しかも、新しい友人を得られるチャンスでもあります。みなさまのご参加をお待ちしています。札幌で会いましょう!

ALIGU AL / お問い合わせ・お申込み

ES-44 ĉe Japana Esperanto-Instituto / (財)日本エスペラント学会 第44回セミナリーオ係
〒162-0042 Tokyo-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3 / 東京都新宿区早稲田町 12-3

電話/telefono: (03)3203-4581 FAX/telefakso: (03)3203-4582

電子メール/retpoŝto: sem@jei.or.jp limdato/申込締切り: 2011/04/10

まったくの入門レベルの方はご相談ください。

「使える言葉エスペラントを実感しよう」 初級

講師：星田淳さん

内容：「一応学んだ」エスペラントが「使える道具」になることを このクラスで確かめていきましょう。音読や歌で発音を練習し、自己紹介から会話・文通へ進みます。秋の日韓共同大会やデンマーク、ベトナムの世界大会でも役立てるようにしたいと思います。

「もっと自信を持って！」 中級

講師：アティリオ・オレラナ・ロハスさん

内容：このクラスは、エスペラントに対するあなたの知識を確実にし、自信を持たせ、しかもレベルアップしてもらうためのクラスです。文法あり、遊びありで楽しく学びます。参加大歓迎！

* 講師のアティリオさんは、アルゼンチンに生まれ、古典文献学とロシア語を学ぶ。1988 年以来、直接法でエスペラントを教える。世界エスペラント大会での数回を含め、世界 70 カ国以上で教えた経験を持つ。1992 年から、新人のエスペラント教師の教育に携わる。エスペラント運動面では、UEA のアメリカ委員、UEA、TEJO、ILEI の委員、ILEI 役員、ILEI/UEA 国際試験委員会委員長などを歴任。

「エスペラント文作成講座」 中級

講師：柴山純一さん

内容：文の作成を目的とします。各人で自分なりの文を2～3ページ程度作成して、できれば事前にメールで示し、最低限会場でコピーし、見ながら推敲していきます。

文は、原文があるものをエスペラントで表すのがよいでしょう。翻訳でなく、外国の人に分かりやすいように追加したり、削除したり、注釈を加えたりしてください。

文芸翻訳でもかまいませんが、実用的、説明的な文がよいでしょう。例えば、あなたの住んでいる/生まれた/育った/旅した町やお祭りなどを、外国人へ説明する。観光案内とか、ウィキペディアとかを題材にしてもよいでしょう。

エスペラントセミナリーオ・札幌 の申し込みは

JEI の機関誌 La Revuo Orienta の2月号の、このセミナリーオ案内の
頁に ALIGILO/参加申込書 がありますので、その書式で申し込んでください。

Danke ricevitaj —受領郵便物— (星田淳 扱い—読みたい方はご連絡下さい)

*La Vulkano; N-ro 164, Autuno 2010; LA ORGANO DE HUKUOKA ESPERANTO-SOCIETO: B5 X8 頁のうちエスペラント文3頁 F-ino Yvonne(Francio) 来訪記事とブルガリアから来た S-ro 原田作の同国訪問記事。札幌にも来たことあったが germana S-ro Frank Stefan, 8月婚約者同伴で福桶に来ている。水川尚美さんの日本大会/長崎参加記の最後に「2年後は札幌らしい…… 行きたいなあ」 Bonvenon!!!

*NOVA VOJO : N-ro 467 novembro 2010, EPA (エスペラント普及会)、A5 X32頁中E文7頁。アジア大会(ウランバートル)、日本大会(長崎)の参加報告、感想の間に「ヒレルの教え/H.H.」が4頁出ている。

*Novajoj Tamtamas: Internacia Gazeto de Jokohama Esperanto-Rondo (JER, Hama-Rondo);N-ro 254/ novembro 2010, A4X4頁、全文E. eseahama-rondanoj に Mia penso: kiel ekspozicii/ SIBAYAMA Noriko は、我々の行事の人集めの工夫をレストランの料理模型と比べて、何が効果的か、考えさせる。

*La Tamtamo: 第425号, 2010年11月号, A4X8頁、JER発行、日本文。行事の予告と報告が大部分。連載中の「共同で作るインターネット素材」、今回は lernu.net

*Ponteto/ (Bulteno de Esperanto-

Ligo en Regiono Kantoo: 関東エスペラント連盟(ELK)) /Novembro 2010 N-ro 243, B5 X28 頁のうちE文約10頁。巻頭記事「Marŝo Esperanto を歌う小学3年生/牧野三男」は仙台の小学校での歌唱指導と子供のための La Espero の日本語歌詞の楽譜。Streta vojo al fora interno(奥のほそみち: 芭蕉)は最後の山中温泉から二見が浦、この号で終わる。S-ro 佐々木照央のE.訳と解説 はすばらしい 仕事だった。

*受講生通信 第133号, 2010-12-01, 沼津エスペラント会, B5X12 頁の内E.文は1頁半ほど。催物欄に第44回エスペラントセミナーオ(来年5月、北海道)。

*Eskalo 第138号(2010年第5号)、2010年12月1日、川崎E.会、B5 X6 頁、日本文。「楽しいエスカの合宿」は11月の八が岳合宿、読んだのは星新一のショートショート、HEL ではなくふん前の正月合宿で読んだなつかしい作品。

*La Movado;関西エスペラント連盟(KLEG)発行,N-ro 718 decembro 2010, B5X20 頁のうちE.文2頁半。伊達市のS-ro 沢谷の「中国エスペランチスト訪問旅行」が連載中。ほかの機関誌にも出ているが「追悼 小林司さん/峰芳隆」はデータが細かい。

*NOVA VOJO : N-ro 468 decembro

2010, EPA, A5 X32 頁中E文8頁はすべて歌祭り関係。巻頭言は10月に開かれた「ブラジリア大本エスペラント歌祭り」、続いて20人の献詠歌（日本から5首、イスラエルから1首、あとはブラジルから）。皆きちんとしたutao（短歌）の形。購読会員（北海道）に佐藤英治、浜口佳壽子さん。

*La Suno N-ro 93, 山梨エスペラント会、2010.12.1, B5X16頁のうちE.文3頁弱は 姉妹都市交流実践の Pri Ĝemeligo, 上海万博見学の写真と解説、など。E.行事参加記は日本大会/長崎とキューバ医療事情視察旅行（こちらは連載第1回。キューバで急病）

*Novajoj Tamtamas: JER, Hama-Rondo; N-ro 255/decembro 2010, A4X4頁、全文E. anoncoj の記事に市民行事への参加が目立つ。

*La Tamtamo: 第427号, 2010年12月号, A4X8頁, JER発行、日本文。行事の記事、いつもながら盛りだくさん。

「共同で作るインターネットのエスペラント素材/柴山純一」はこの号（その5）で最終回。ハマロンドの歌の楽譜あり。

*La Movado; KLEG発行, N-ro 719 januaro 2011, B5X16頁のうちE.文4頁。

「中国エスペランチスト訪問旅行(3)/沢谷雄一」は連載終わり。Vortaro por Lernantoj/ Laŭlum は連載 100回目。簡単なエス・エス辞典だが使用例

を4行詩で示した見事なもの。La Movado頁に北海道大会の報告。

*NOVA VOJO: N-ro 469 JANUARO 2011, EPA, A5 X34 頁中E文6頁。DEGUĈI NAO（開祖伝）が連載開始、この号で4頁のエスペラント文、なぜか見出しに出ていない北海支部、苫小牧支部からの報告記事。

*Novajoj Tamtamas: JER, Hama-Rondo; N-ro 256/januaro 2011, A4X4頁、全文E. 第1頁の NIAJ PLANOJ には例会、市民向け講演会の予定。ESEJOJ には長崎大会のあと訪れた天草、第3回日本E.大会（1916）の開かれた横浜の「花月園」の歴史、S-ro NOSS の住むミュンヘンの福祉の状況など。

*Ponteto/ (ELK) /Januaro 2011 N-ro 244, B5 X12頁のうちE文2頁弱は連載第4回目の Genji-monogatari Jugao で Majo 1963 tradukita de Huku Tamura とある。「牧野三男の La Espero 大作戦」は東京都初等学校協会の音楽祭に出場の先生たちにエスペラントの歌の楽譜を配って歌ってもらおう、との計画。La Espero, La Tagiĝo の合唱楽譜は幾通りもできている。

*La Tamtamo: 第428号, 2011年1月号, A4X8頁, JER発行、日本文。第81回読書会（12月4日）は Silento（遠藤周作の「沈黙」）について3頁にわたって参加者の感想。

[第2回委員会報告] Protokolo de la 2-a Komitata Kunsido

La 2a kunsido de la komitato

la 20a de novembro, 2010, Sapporo

Estis Hosida, Kirikae, Abe, Kabayama, Yokoyama, Goto Sumiko,
Goto Yosiharu.

Malestis Kawai, Nakata.

Organizo, Kabayama : La unua tasko estas la listo de HELanoj.

Sciigu lin pri plej multe da informoj de iaj ajn koncernintoj de
Esperanto en Hokajdo.

Financo, Goto Sumiko : La Hokkajda Kongreso, enspezo 92, 000enoj,
elspezo 88,575enoj, resto 3,425enoj.

Enkomputiligo de financo, kion oni proponis, ne necesos.

Hejmpaĝo, Yokoyama : La nombro de la vizitintoj estas 66028.

Reta Gazeto, Yokoyama : porkomencanta kurso per poemo. iomete multiĝis
legantoj.

Informo kaj propagando : Oni trovis artikolojn en journaloj kaj "Mystery
Magazine" pri la morto de s-ro KOBAYASI Tukasa.

Eduko/Studo, Kirikae : Pri la seminario de JEI en Sapporo en 2011. HEL
ne estos ties kunokaziganto de la seminario sed nur estos ties helpa
societo. JEI petis al ni prepari zorganton de prezenta vespero. la
fenestro de JEI pri la seminario estas s-ino ISIKAWA Tieto.

Organo, Hosida : Eldoniĝis la 132a numero. Venu manuskriptoj. Oni
deziras al la redaktanto lernan paĝon.

En la ĉi-jara Hokkajda Kongreso malmultis venintoj pro nesufiĉa antaŭ-
sciigo al publiko kaj al HELanoj. Ekzemple, la loko mankis en la sciigo
en Heroldo de HEL.

Pri du kontrolantoj de finaco Yokoyama petos s-inon Yamagisi dum Kirikae
petos s-inon Baba.

Hosida sendis gratulan mesaĝon al la Vladivostoka Klubo pro ĝia 30a
jariĝo.

KABAYAMA Yusuke jen raportas.

[第99回日本大会第⁴回LKK 議事録]

Protokolo de la ⁴2-a Kunsido de Loka Kongresa Komitato
por la 99a Japana Esperanto-Kongreso

20a de novembro, 2010.

Estis Hosida, Kirikae, Abe, Kabayama, Yokoyama, Goto Sumiko,
Goto Yosiharu.

Malestis Kawai, Tubaki.

Temo: Esperanto kaj ekologio

Difinitan esprimon ni decidis ĉe la venonta kunsido.

(S-ro KIMURA Goro Christof, kiun oni deziris inviti por temo alia ol ĝi,
ne povos veni la kongreson.)

La halo estis rezervita provizore kun la pago de 54800 enoj.

Ni rezervos la ĉambrojn de Kaderu:

6a, sabato, 13⁻16h, ĉambro ampleksanta por 108 homoj

17⁻21h, por 216

7a, dimanĉo, antaŭtagmezo, halo jam rezervita,

13⁻16h, por 216

post 16h, bankedo

8a, lundo, 9⁻12h, por 216

13h⁻16h, por 216

dum la tuta tempo (de posttagmezo de la 6a ĝis la vespero de la 8a) :

la ĉambro por libroservo kun trinkejo : n-ro 550

la ĉambro por sekretario : n-ro 530

Goto Sumiko kaj Goto Yosiharu sezervos kvin malgrandajn ĉambrojn.

La loko de la bankedo kaj la simbola desegno : Abe

Nakamura, Kristana Centro, Sappora Biera Ĝardeno aŭ ie.

Yokoyama informos JEI-n pri hoteloj.

Ekskurso : Kabayama

Vicestro, Kolekto de subtenantoj : Kirikae

Oni kontaktis s-ron Isobe Syosaku.

Estro, memora eldono : Hosida

(Noto : post tiu ĉi kunsido Kirikae deklaris sian eksigon de LKK)

[Noto de la red.]

毎号委員会の報告を載せていましたが、これは

*委員会が何をしているかを会員の皆様にみてもら

*委員にも (欠席の方もるので) HEL の活動状況を確認してもら

などを目的としています。議事は日本語で進められているので、議事報告も従来日本語で行われていました。

今回の委員会書記（記録担当者）からの原稿は印刷予定の2日前に Heroldo 編集担当にエスペラント文で到着しました。原稿到着後編集作業開始ですから時間不足、そのまま印刷します。委員会議事もエスペラントで行われるべきだ、と考えればこの議事報告はその時あるべき形のテストになっているかもしれませんが、意見を寄せてください。

[編集後記/Redaktanto parolas ...]

*ハバロフスクの S-ro Miĥail Korĉmarjov さんから原稿が来ています。いつもながら手書き原稿の判読、読み取れないところもあるのでハバロフスク放送局経由で問い合わせたら「書き直した原稿を郵送します」とのこと、次号回しになります。彼がメールを使えたら間に合ったのですが。ついでながらハバロフスクでは零下41度まで冷えているそうです。

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000円、 青年会員（26歳未満） 1500円、
購読会員 2000円、 家族会員 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

*ORGANON REDAKTAS: HOŝIDA Acuŝi
Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI
053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS:0144-74-2539

Postgirkonto (郵便振替) : 02700-6-17075

*Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 45, Simin-Katudō-Sapōto-Sentā
Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3
Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio
TEL-FAKS : 0126-62-4636

Retadreso : nordano@sea.plala.or.jp

*TTT-ejo : <http://www5d.biglobe.ne.jp/hel/jp/index-j.htm>

北海道エスペラント連盟

*機関誌 : 〒053-0844 苫小牧市
宮の森町2丁目18-18
星田 淳 方

Retadreso:hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

*事務局 : 川合由香

〒060-0808 札幌市北区
北8条西3丁目札幌エルプラザ
市民活動サポートセンター 1ターケースNo.45